

わがまち瀬谷

第69号 (2020年11月1日)

編集・発行 せや・ガイドの会



和泉川沿いのコスモス

瀬谷の魅どころ

- 1～2 ページ : 寶藏寺
- 3 ページ : 花あっちこっち、活動報告、
- 4 ページ : コロナ感染防止策、会員募集

「わがまち瀬谷」第67号から、瀬谷区内の各寺院のご住職にお話を伺い紹介することを始めました。二回目は、寶藏寺(高野山真言宗)ご住職にお話を伺いました。



寶藏寺 本堂

志岐正博住職

高野山真言宗

編集者：真言宗について、学者は古義真言宗と新義真言宗に分類して違いを説明したりしますが、その分類からは、こちららは古義真言宗にあたるのですか？(注1)

和尚：当山は弘法大師が開山された、高野山真言宗となります。

修行のころ

編：修行はどちらでされたのですか？

和：和歌山県・本山高野山にて修行を成満いたしました。4月でも雪が降り積もる山奥での修行となりました。私は、結婚を機に出家しましたので、40歳を過ぎてからの出家し、10代の青年から40代の私まで(笑)一般社会との情報を一切遮断

された厳しい環境の中で昼夜も問わず修行を積み無事に成満(終了)する事が出来ました。

編：修行は弘法大師の著作などを学びますか？

和：私の悟りを求め実践しながら作法を学ぶ行ぎょうとなります。

編：修行中に何か感じられた事はありますか？

和：行中の心の隙は「見事に見透かされている」という事。本来、窓を閉め切って静止している状況下で消えるはずのない燈明が消えてしまった事実、仏様は何時でも見ておられると実感しました。

寺物について

御朱印状の駕籠

編：御朱印状の駕籠がはありと聞いておりましたが？

和：徳川3代将軍家光公から御朱印地を賜り、代替わりで御朱印状の書き換えの時に使用された駕籠が現存しています。

編：和尚が乗られた駕籠かと思っていましたが、そうではないのですか？

和：御朱印状を納める駕籠ですね。(笑)

編：拝見しないと判らないものですね？(但し非公開)



御朱印状駕籠

まんだら
曼荼羅

編：貴重な曼荼羅(注2)を入手されたそうですが？

和：ご縁があって、京都の東寺に伝わる曼荼羅を数点に限って模刻を許された方がいらして、そのうちの1点が入手でき本堂に祀っています。(非公開)

けちえんさんこしよ
結縁三鈷杵

編：最近結縁三鈷杵を境内に設置されましたね？

和：開山950年を記念して、密教の煩悩を打ち砕くと言われる三鈷杵(注3)を設置しました。紐は、ご本尊不動明王の御手と結びれていますので、どうぞ良いご縁を結んでください。



結縁三鈷杵



本尊 不動明王像

富士見楽寿観音

編：観音像が有り、富士見楽寿観音第五番札所と描かれていますか？

和：富士見楽寿観音霊場三十三所の五番目という事です。ボケ封じの観音様として親しまれています。



富士見楽寿観音

こうみょうしんごん
光明真言

編：光明真言の掘られた石碑がありますね。光明真言は、インターネットなどでみますと、唱えると様々な魔を取り払い、聞くだけでも自らの罪障がなくなるという万能な魔法の言葉であると言われていたのですが？

和：確かにそのような事が言われる通りです。当山も弘法大師の御宝号(注4)「南無大師遍照金剛」と光明真言は大

切にお唱えしております。

大切にしたい言葉・教え

編：我々が大切にしたら良いと言った言葉あるいは教えはありますか？

和：ご縁という事を大切にされるといいと思います。我々が生まれてこれたのは、父がいて母がいて、その父・母にもそれぞれ父母がいて、ずっと続く尊いご縁のどれか欠けてしまうとあり得ない訳です。その他にも色々なご縁が有り、沢山のご縁の中で生かされている。自分一人で生きているのではない。そうした事を思っていく事が大切ではないでしょうか。そうして是非いいご縁を結んでいただくことが良い思いだと思います。

参加できる行事など

編：我々の参加できる行事はありますか？

和：毎年お彼岸の3月21日に合同水子供養会を厳修しております。お経を唱え、法話をお聞き頂いています。水子さんがおられる方はどなたでもご参会いただけます。

編：どうもありがとうございました。

短い時間の中で、なかなか掘り下げたお話を伺うまでにはなりませんでしたが、御修行の事など興味深いお話も伺うことができました。ありがとうございました。

注1 古義真言宗と新義真言宗については「わがまち瀬谷」第67号を参照してください。

注2 曼荼羅
仏の悟の境地を意味した図絵。胎蔵界曼荼羅と金剛界曼荼羅の二つから成る。

注3 三鈷杵
密教の法具。煩悩を破碎する菩提心の象徴として用いられる。両端が球のおの一本で先が分かれていない物を独鈷杵、みつまたになった物を三鈷杵、五つに分かれた物を五鈷杵と言う。

注4 御宝号
「南無大師遍照金剛」の事。「遍照金剛」は師から授かった弘法大師の名。弘法大師ご帰依しますという意味。

花あっちこっち

ランタナ（七変化）



ランタナは南北アメリカの熱帯・亜熱帯地域に分布する常緑性低木で、日本には江戸時代末期に渡来し、沖縄諸島、小笠原諸島で帰化植物として定着し全国に広まった。観賞用として公園や個人宅花壇で栽培されているのはランタナ・カマラ種。花期は夏から秋で、一定の温度があれば周年開花する。花色はピンク、白、赤、オレンジ、など複色で、蕾はリボンのような形をしており、花は咲き進むにつれて色が変わる為、「シチヘンゲ（七変化）」の由来となったもの。

▲▼ 活動報告 ▼▲ 9月19日（土） 「陣ヶ下溪谷とその周辺探訪」 曇り時々晴れ

参加者 52名、会員 10名

横浜市内で唯一溪谷としての景観を保っている陣ヶ下溪谷。陣ヶ下の地名は、源頼朝の家臣和田義盛が、狩のためこの近辺で陣を張ったことに由来しているとか。新型コロナウイルス感染防止のため、消毒・検温・マスク着用して出発しました。まず175段の階段を登り海拔50mにある富士山神社に参拝。富士塚に登り、西谷の街を眺め一休み。妙福寺（日蓮宗）、正観寺（曹洞宗）、川島町杉山神社を回り目的地の陣ヶ下溪谷、緑豊かな中で休憩を取りました。その後、明治20年（1887）10月初めて水道が完成し、鉄管を埋設した水道道を歩き、昭和60年（1985）県の名木100選に選ばれ、史の天然記念物に指定された、樹高20m、胸高周囲5.7m、推定樹齢約300年と言われるタブの木（金子稻荷社境内）を見て鶴ヶ峰駅にて解散するコースでした。



富士山神社



陣ヶ下溪谷



▲▼ 当会の新型コロナウイルス感染防止対策 ▼▲

3月から新型コロナウイルス感染防止のため活動を中止してまいりました。終息はまだまだ望めるような状況ではありませんが、感染防止策を十分に考慮して9月から活動を再開することにしました。再開するにあたり、当会として検温器・消毒液・フェイスシールド・使い捨て手袋・予備用マスクを用意するなどの防止策を取り、当日は参加者の皆様にもご協力をお願いしました。

受付の手順は、まず手指の消毒・検温・マスク着用確認。体温 37.5° 以上の方は参加をご遠慮いただきます。次に「新型コロナウイルス感染症防止の確認票」への記入依頼、班編成後「確認票」はガイドが回収し、「確認票」は個人情報対策を施したうえで一定期間保管し、その後破棄します。班ごとに間隔をとり出発となります。



フェイスシールドとマスクをつけて検温実施



間隔を空けてお並び頂きました（班分け）

▲▼ 会員募集 ▼▲ われわれの仲間になって、ともに歩いて楽しみませんか！

せや・ガイドの会は、瀬谷区の生涯学習で街のガイド研修や記録誌編集の研修を受け、平成13年(2001)4月に発足した団体です。結成20周年を迎えるにあたり一緒に活動する仲間を募集しています。

活動内容

- * 第一月曜日 ガイドの下見。
- * 第三土曜日 ガイド本番。
- * 第四火曜日 定例会・勉強会（せやまる・ふれあい館）
- * 瀬谷のまちの記録誌「わがまち瀬谷」の発行



ガイド風景



海老名 史跡秋葉山古墳群（左・中央）



瀬谷市民の森

会員メンバー：石井俊和、稲垣庸子、梅田一好、鈴木正志、竹見修二、田村宏、玉垣チヅ子、辻善之、寺谷宗也、東七男、深谷正行、松永清男、村上莞爾